

男女共同参画行動計画白山21（改訂版）の 平成27年度業実施状況について（概要）

1. 基本目標 I 家庭・職場・地域において男女が共に 個性と能力を発揮できる社会の実現

- ▶課題1 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）
- ▶課題2 雇用の場における男女の均等な機会と待遇の確保
- ▶課題3 人々が安心して暮らせる環境の整備
- ▶課題4 地域における男女共同参画の推進

《平成27年度事業実施状況について》

「心理学」、「法律」、「教育」を専門としている講師を招き、男女共同参画セミナーを開催し、男女共同参画社会の意識の醸成に努めた。また、同時に男女共同参画サポーター研修を実施し、サポーターの知識の涵養に努めた。

市民レベルでの男女共同参画周知啓発事業として、男女共同参画サポーターが市内学童クラブ2カ所において、男女共同参画啓発紙芝居「あいちゃんのふしぎな夢カレー」を実演し、その活動を支援した。

男性の家事・育児への参加促進を啓発として、父親向けの「父子手帳」を母子手帳と合わせて交付した。子育てを支える環境の充実としては、引き続き病児保育事業、一時保育事業を実施するほか、子育てに関する相談支援体制の充実として、支援相談窓口「たんぽぽ」を開設し、相談者が相談しやすい体制を整え、保育サービスの充実を努めた。また、児童館、児童センターの利活用の促進を図り、地域における子育てを支援した。

介護を支える環境の充実として、平成26年4月から福祉ふれあいセンターに専属の介護相談員を配置しており、平成27年度は1,269件の相談があった。

雇用の場における男女の均等な機会と待遇の確保については、平成26年度から「仕事と生活が調和する優良事業所」の表彰制度を開始しており、平成27年度においては、雇用環境の整備に積極的に取り組む市内2事業者を表彰した。

人々が安心して暮らせる環境の整備として、認知症について誰もが気軽に話せる場として開催している認知症カフェ（オレンジカフェ）を福祉ふれあいセンターのほか吉野谷公民館で設置するなど、認知症支援策の充実を努めた。

地域における男女共同参画の推進として、公民館における女性の自己啓発講座の開催のほか、防災に関する女性のリーダー育成として、平成27年度に女性3名が自主防災組織リーダー（防災士）養成講座を受講し、市内の女性防災士は31名となった。

2. 基本目標 II 男女共同参画社会づくりに向けた意識の改革

- ▶課題5 男女共同参画の視点に立った社会制度・慣行の見直し、意識改革
- ▶課題6 男女共同参画の視点に立った教育・学習の充実

《平成27年度事業実施状況について》

市内中学校において男女混合名簿を実施し、教育の場での男女平等の推進、社会的制度・慣行の見直しを推進した。

本市の男女共同参画を推進するため平成26年度に市民を対象とし認定した男女共同参画サポーターの活動として、市内学童クラブ2箇所において、男女共同参画紙芝居を実演し、男女共同参画の視点に立った教育・学習の充実に努めた。

男女共同参画の視点に立った意識改革、周知のため、平成25年度に作成した「男女共同参画の視点からの刊行物ガイドライン」を市内中学校に配布し、学習用教材として活用した。

また、平成24年度から実施している男女共同参画をテーマとした討論会を美川中学校の3年生を対象に開催し、学校教育における男女平等教育を推進した。

3. 基本目標 III 方針の立案・決定過程への女性の参画の拡大

- ▶課題7 方針の立案・決定過程への女性の参画の拡大と人材育成

《平成27年度事業実施状況について》

方針の立案・決定の過程への女性参画の拡大のため、市の審議会等の女性委員の登用率の目標を40%としているが、平成27年度の女性委員登用率は29.2%（対前年比+0.1%）であった。

平成27年度より、出産、育児や介護など、仕事を離れた女性を対象にした就業、再就職支援のためのセミナーとして「ママのための再就職支援講座【面接編】」を実施した。

4. 基本目標 IV 男女の人権の尊重

- ▶課題8 女性に対するあらゆる暴力の根絶
- ▶課題9 生涯を通じた女性の健康支援

《平成27年度事業実施状況について》

夫・パートナーからの暴力への対策推進として、DVホットライン、女性なんでも相談を開設し、平成27年度は女性何でも相談182件、DVホットライン111件の相談を受け、内2件を石川県配偶者暴力支援センターに通報した。

また、平成27年4月からDV対応システムを本稼働し、庁内連携による被害者支援の推進を図った。